

リーディングDXスクール事業 工夫・改善】

【GIGA×指導の

千葉市立さつきが丘中学校

【GIGA×指導の工夫・改善】学習状況の的確な把握と、個に対する丁寧な指導の工夫・改善に向けて

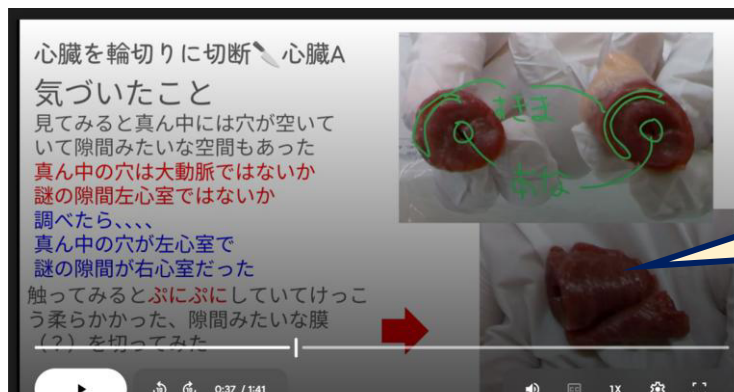
<考察>

○タブレットを活用した授業実践

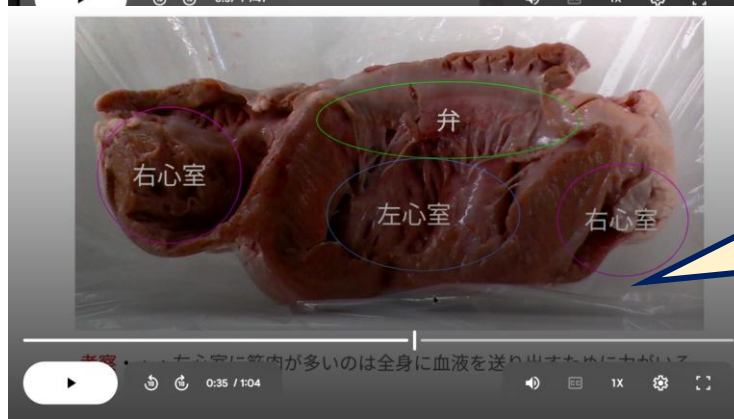
単元：理科 生物の体のつくりとはたらき

ニワトリやブタの心臓を利用して、本校では初めてとなる動物の解剖を行った。心室・心房の筋肉の厚さの違いや、大動脈・肺動脈などの血管が各部分につながっていること、血管の厚さが違うことなど、これまで学習したことを確認しながら解剖実習を行った。動物の心臓のつくりを観察することを通して、心臓のつくりの特徴を体験的に理解させることができると考えた。その際、タブレットを用いて写真を撮影し、次の時間に別の班に対して気が付いたことや考えたことを発表させることを目標に、心臓のつくりについてプレゼンテーション資料を班ごとに作成させた。資料作成を通して、動物の心臓のつくりについて理解を深めることができた。発表の時間には、それぞれの発表の様子をタブレットで撮影しながら評価し、表現方法を工夫した。

解剖、観察、記録、考察の過程で、プレゼンテーション資料を活用することで、班内や学級内で伝え合い、学び合い、わかり合う協働的な学びの充実を図ることができた。



解剖経過を撮影し、心臓のつくりについてスライドをつくった



2種類の動物の心臓を担当を分けて解剖し、それぞれのスライドを画面キャプチャしながら録音・録画した



お互いの発表動画を見たあとで、それぞれの心臓のつくりの共通点を考えて、GoogleFormsで答え、共有した